２　企業版ふるさと納税を活用した舞鶴高専と舞鶴市の取り組みについて

舞鶴市　企業版ふるさと納税のお願い

寄附金の活用先

舞鶴高専連携推進プロジェクト

企業の支援で、若者・子ども・市民の学びを広げます

近畿北部唯一の工業系高等教育機関である舞鶴高専の専門性を活用し、
地域社会の活性化に寄与する人材を育成します。



技術と起業家精神を育む



地域にSTEAM体験を届ける

２　企業版ふるさと納税を活用した舞鶴高専と舞鶴市の取り組みについて

具体的な３つの取り組み

1. 舞鶴高専生のアントレプレナーシップ（起業家精神）の育成
2. 市内の子どもたちへのSTEAM教育（理数系の知識と自由な発想力を組み合わせて、自分で考えて問題を解決する力を育てる学習）の実施
3. 市民へのリスキリング（学び直し）機会の提供

2　企業版ふるさと納税を活用した舞鶴高専と舞鶴市の取り組みについて

1　舞鶴高専生のアントレプレナーシップの育成

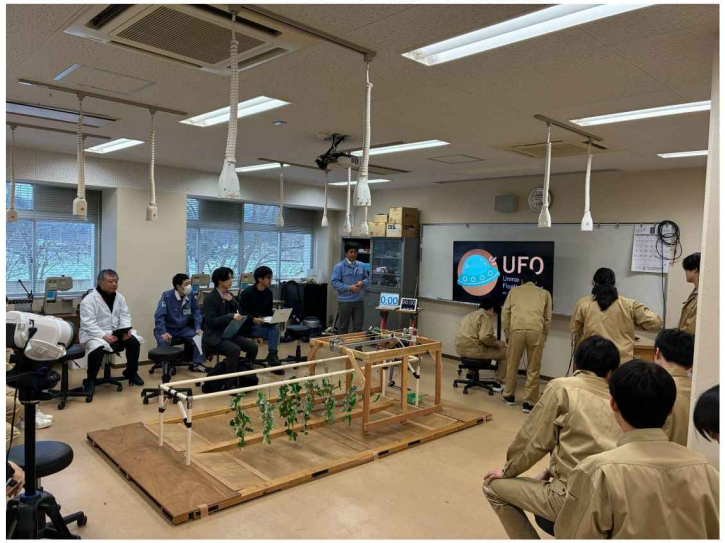
目的：舞鶴高専が誇る高度な技術力と教育ノウハウを地域へ還元し、「学びから挑戦へ、挑戦から産業創出へ」とつながる持続可能な共創の仕組みを築くこと



DCON2026で農林水産大臣賞を受賞した
舞鶴高専生の市長報告会



起業家等による講演会の実施



地元企業と連携したPBL（課題解決型）授業の実施（12月に実施予定）

ビジネスプランコンテスト等への参加支援

２　企業版ふるさと納税を活用した舞鶴高専と舞鶴市の取り組みについて

1️⃣　アントレプレナーシップ育成の推進体制

【１】舞鶴アントレプレナーシップ共創プラットフォーム

・10月23日（金）

　金融機関、支援機関、舞鶴高専、舞鶴市で組織するプラットフォームを新たに設置。

・目的

　アントレプレナーシップ教育とスタートアップ支援を通じて『学びから挑戦へ、挑戦から産業創出へ』とつなぎ、地方創生を実現する共創の仕組みづくりを目指す。



舞鶴アントレプレナーシップ共創プラットフォーム

【２】地域連携コーディネーターの配置

舞鶴高専が、高専と企業、地域を繋ぐ地域連携コーディネーター（原田特命助教）を新たに配置。プロジェクトの推進役を担う。

2　企業版ふるさと納税を活用した舞鶴高専と舞鶴市の取り組みについて

2　市内の子どもたちへのSTEAM教育（理系教育）の実施

目的：幼少期・小中学生の段階から科学技術やモノづくりの面白さに直接触れ、未来を切り拓く探究心や創造力を育むこと





舞鶴市教育委員会と連携した理系教育の充実

・本年8月
市内小・中学校と舞鶴高専との情報交換会を実施
・12月
城南中学校をモデル校に舞鶴高専の教員や学生が授業支援を実施予定。小学校も同様に進める予定。

「まいかつ」の受け入れ

中学生を対象にしたプログラミング講座
舞鶴高専杯プログラミングコンテストに向けて活動中

3️⃣　市民へのリスキリング機会の提供

市内企業における従業員のスキルアップやリスキリングのニーズを調査し、それに基づいた支援策を検討

問い合わせ先					
事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
舞鶴高専連携推進事業	企画政策課	後 小谷	66-1042	62-5099	plan@ city.maizuru.lg.jp